

## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社INPEX 上場取引所 東  
 コード番号 1605 URL <https://www.inpex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 隆之  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 脇田 嘉博 (TEL) 03-5572-0750  
 ジェネラルマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,078,789	△1.8	570,534	△2.4	696,485	11.2	254,255	38.1
2022年12月期第2四半期	1,098,476	—	584,548	—	626,327	—	184,144	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 543,874百万円 (△20.6%) 2022年12月期第2四半期 684,627百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	194.68	—
2022年12月期第2四半期	132.83	—

(注1) 2022年12月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年12月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(注2) 2022年12月期第2四半期に係る各数値については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。なお、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	6,864,727	4,535,685	62.2
2022年12月期	6,259,853	4,022,370	60.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 4,270,206百万円 2022年12月期 3,760,852百万円

(注) 2022年12月期に係る各数値については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	30.00	—	32.00	62.00
2023年12月期	—	37.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	37.00	74.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式（非上場）に係る配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご参照ください。

(注3) 配当予想の修正については、本日（2023年8月9日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,031,000	△12.6	1,009,000	△19.0	1,151,000	△20.2	320,000	△30.6	245.02

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注2）対前期増減率については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の前期数値と比較して記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無  
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	1,386,667,167株	2022年12月期	1,386,667,167株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	80,654,673株	2022年12月期	80,672,863株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	1,306,002,898株	2022年12月期2Q	1,386,326,951株

（注）期末自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式（2023年12月期2Q 892,173株、2022年12月期 910,363株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項は添付資料4ページをご参照ください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	12,000.00	—	12,800.00	24,800.00
2023年12月期	—	14,800.00			
2023年12月期 (予想)			—	14,800.00	29,600.00

(注1) 2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致していません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

(注2) 配当予想の修正については、本日(2023年8月9日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(企業結合等関係)	14
(重要な後発事象)	15
3. 参考情報	16
(1) 生産、受注及び販売の状況	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

前第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間との比較分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の数値を用いております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」をご参照ください。

また、第1四半期連結会計期間より、会計方針の変更を行っており、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析にあたっては、遡及適用後の数値を用いております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

さらに、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更を行っており、前第2四半期連結累計期間との比較分析にあたっては、一部の販売数量及び平均価格につき集計方法の見直しが反映された後の数値を用いております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、期中平均レートが円安に推移したものの、原油の販売価格の下落により、売上高は前年同期比196億円、1.8%減の1兆787億円となりました。このうち、原油売上高は前年同期比769億円、9.1%減の7,663億円、天然ガス売上高は前年同期比577億円、23.6%増の3,023億円です。当第2四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比1,255千バレル、1.8%減の69,701千バレルとなり、天然ガスは前年同期比10,795百万立方フィート、4.5%増の249,555百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比15,854百万立方フィート、8.6%増の201,045百万立方フィート、国内天然ガスは、前年同期比135百万立方メートル、9.5%減の1,295百万立方メートル、立方フィート換算では48,338百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり81.44米ドルとなり、前年同期比14.85米ドル、15.4%下落、海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり6.02米ドルとなり、前年同期比0.06米ドル、1.0%下落、また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり102円18銭となり、前年同期比30円36銭、42.3%上昇しております。売上高の平均為替レートは1米ドル134円96銭となり、前年同期比11円71銭、9.5%の円安となりました。

売上高の減少額196億円を要因別に分析しますと、販売数量の減少により93億円の減収、平均単価の下落により928億円の減収、売上の平均為替レートが円安となったことにより830億円の増収、その他の売上高が5億円の減収となりました。

一方、売上原価は前年同期比82億円、1.8%減の4,390億円、探鉱費は前年同期比20億円、15.3%減の113億円、販売費及び一般管理費は前年同期比46億円、8.7%増の578億円です。以上の結果、営業利益は前年同期比140億円、2.4%減の5,705億円となりました。

営業外収益は前年同期比205億円、14.3%増の1,638億円、営業外費用は金融資産の条件変更等から生じる損失の剥落等により、前年同期比636億円、62.7%減の378億円となりました。この結果、経常利益は前年同期比701億円、11.2%増の6,964億円となりました。

法人税等は前年同期比11億円、0.3%増の4,467億円、非支配株主に帰属する四半期純損失は44億円です。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比701億円、38.1%増の2,542億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント利益及び報告セグメントを変更しており、前第2四半期連結累計期間との比較分析にあたっては、変更後のセグメント利益及び報告セグメントに基づく数値を用いております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

#### ① 国内石油・天然ガス事業(国内O&G)

ガス価の上昇により、売上高は前年同期比269億円、24.1%増の1,385億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比157億円、123.1%増の284億円となりました。

#### ② 海外石油・天然ガス事業(海外O&G) — イクシスプロジェクト

油価の下落により、売上高は前年同期比33億円、1.8%減の1,839億円となりましたが、金融資産の条件変更等から生じる損失の剥落等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比314億円、25.9%増の1,529億円となりました。

#### ③ 海外石油・天然ガス事業(海外O&G) — その他のプロジェクト

油価の下落により、売上高は前年同期比479億円、6.1%減の7,422億円となりましたが、法人税等の減少等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比146億円、23.6%増の764億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6兆8,647億円となり、前連結会計年度末の6兆2,598億円と比較して6,048億円の増加となりました。このうち、流動資産は9,072億円で、有価証券の増加等により前連結会計年度末と比較して1,777億円の増加となりました。固定資産は5兆9,575億円で、有形固定資産及び投資その他の資産の増加等により前連結会計年度末と比較して4,270億円の増加となりました。

一方、負債は2兆3,290億円となり、前連結会計年度末の2兆2,374億円と比較して915億円の増加となりました。このうち、流動負債は7,533億円で、前連結会計年度末比2,266億円の増加、固定負債は1兆5,756億円で、前連結会計年度末比1,350億円の減少となりました。

純資産は4兆5,356億円となり、前連結会計年度末比5,133億円の増加となりました。このうち、株主資本は3兆1,290億円で、前連結会計年度末比2,207億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は1兆1,412億円で、前連結会計年度末比2,886億円の増加、非支配株主持分は2,654億円で、前連結会計年度末比39億円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の2,116億円から当第2四半期中に減少した資金568億円を差し引いた1,548億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比213億円増の4,323億円となりました。これは主に、非資金項目である金融資産の条件変更等から生じる利益の計上、金融資産の条件変更等から生じる損失の剥落があったものの、売上債権が減少したこと、非資金項目である持分法による投資損益が減少したことによるものです。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比164億円減の3,672億円となりました。これは主に、有価証券の取得による支出が増加したものの、長期貸付けによる支出が減少したことによるものです。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は1,200億円となりました（前年同期は121億円の収入）。これは主に、長期借入金の返済による支出が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期連結業績予想については、為替の円安推移により前提条件を見直したこと、2023年12月期第2四半期連結（累計）の実績が上振れたこと等を加味し、2023年5月10日公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

通期連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	1,994,000	984,000	1,077,000	300,000
今回修正予想（B）	2,031,000	1,009,000	1,151,000	320,000
増減額（B－A）	37,000	25,000	74,000	20,000
増減率（%）	1.9	2.5	6.9	6.7

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	上期平均(予想)	81.1ドル/バレル	上期平均(実績)	79.9ドル/バレル
	下期平均(予想)	79.0ドル/バレル	下期平均(予想)	80.1ドル/バレル
	・第3四半期平均(予想)	80.0ドル/バレル	・第3四半期平均(予想)	80.0ドル/バレル
	・第4四半期平均(予想)	77.9ドル/バレル	・第4四半期平均(予想)	80.2ドル/バレル
	通期平均(予想)	80.0ドル/バレル	通期平均(予想)	80.0ドル/バレル
為替 (対米ドル)	上期平均(予想)	131.2円/ドル	上期平均(実績)	135.0円/ドル
	下期平均(予想)	128.8円/ドル	下期平均(予想)	135.0円/ドル
	通期平均(予想)	130.0円/ドル	通期平均(予想)	135.0円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	227,829	170,256
受取手形、売掛金及び契約資産	252,938	202,399
有価証券	58,152	326,044
棚卸資産	68,154	72,312
その他	135,346	150,415
貸倒引当金	△13,020	△14,226
流動資産合計	729,401	907,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	157,137	158,100
坑井(純額)	340,259	348,790
機械装置及び運搬具(純額)	1,583,141	1,656,953
土地	18,178	18,202
建設仮勘定	339,787	391,708
その他(純額)	34,615	31,501
有形固定資産合計	2,473,118	2,605,256
無形固定資産		
のれん	40,332	35,895
その他	442,371	449,442
無形固定資産合計	482,704	485,338
投資その他の資産		
投資有価証券	742,914	893,294
長期貸付金	1,279,383	1,399,541
生産物回収勘定	521,541	503,493
その他	87,205	128,324
貸倒引当金	△690	△763
生産物回収勘定引当金	△53,873	△54,728
探鉱投資引当金	△1,852	△2,230
投資その他の資産合計	2,574,629	2,866,931
固定資産合計	5,530,452	5,957,526
資産合計	6,259,853	6,864,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,183	35,334
短期借入金	75,878	242,119
コマーシャル・ペーパー	—	88,000
未払法人税等	126,675	121,729
賞与引当金	1,458	—
役員賞与引当金	130	60
事業損失引当金	8,631	8,492
探鉱事業引当金	3,391	4,192
資産除去債務	15,504	15,971
その他	247,887	237,498
流動負債合計	526,740	753,398
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,164,369	922,026
株式給付引当金	245	312
特別修繕引当金	705	762
退職給付に係る負債	689	2,093
資産除去債務	303,159	330,953
その他	211,572	289,495
固定負債合計	1,710,742	1,575,643
負債合計	2,237,483	2,329,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	683,382	683,434
利益剰余金	2,055,459	2,276,087
自己株式	△121,358	△121,330
株主資本合計	2,908,293	3,129,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,147	3,448
繰延ヘッジ損益	32,421	35,285
為替換算調整勘定	815,989	1,102,471
その他の包括利益累計額合計	852,558	1,141,205
非支配株主持分	261,517	265,479
純資産合計	4,022,370	4,535,685
負債純資産合計	6,259,853	6,864,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,098,476	1,078,789
売上原価	447,324	439,095
売上総利益	651,151	639,694
探鉱費	13,385	11,335
販売費及び一般管理費	53,218	57,824
営業利益	584,548	570,534
営業外収益		
受取利息	16,513	44,348
受取配当金	8,373	4,036
持分法による投資利益	101,449	8,734
生産物回収勘定引当金戻入益	6,779	—
為替差益	—	6,203
金融資産の条件変更等から生じる利益	—	92,783
その他	10,153	7,720
営業外収益合計	143,269	163,828
営業外費用		
支払利息	9,934	27,972
生産物回収勘定引当金繰入額	—	855
為替差損	1,257	—
金融資産の条件変更等から生じる損失	80,010	—
その他	10,287	9,048
営業外費用合計	101,490	37,877
経常利益	626,327	696,485
税金等調整前四半期純利益	626,327	696,485
法人税等	445,595	446,725
四半期純利益	180,731	249,760
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,412	△4,495
親会社株主に帰属する四半期純利益	184,144	254,255

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	180,731	249,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,680	△699
繰延ヘッジ損益	△6,061	△1,336
為替換算調整勘定	458,585	280,738
持分法適用会社に対する持分相当額	46,690	15,411
その他の包括利益合計	503,895	294,114
四半期包括利益	684,627	543,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	678,445	542,902
非支配株主に係る四半期包括利益	6,181	972

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	626,327	696,485
減価償却費	140,955	123,859
のれん償却額	4,466	4,424
生産物回収勘定引当金の増減額 (△は減少)	△6,779	855
探鉱事業引当金の増減額 (△は減少)	169	478
その他の引当金の増減額 (△は減少)	4,838	113
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△444	1,401
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△1,938
受取利息及び受取配当金	△24,887	△48,385
支払利息	9,971	28,004
為替差損益 (△は益)	14,988	466
持分法による投資損益 (△は益)	△101,449	△8,734
金融資産の条件変更等から生じる損失	80,010	—
金融資産の条件変更等から生じる利益	—	△92,783
生産物回収勘定 (資本支出) の回収額	41,713	40,111
生産物回収勘定 (非資本支出) の増加額	△3,942	△4,676
売上債権の増減額 (△は増加)	△49,578	58,654
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,393	△1,946
仕入債務の増減額 (△は減少)	473	△13,681
その他	21,649	17,149
小計	752,089	799,857
利息及び配当金の受取額	14,711	56,060
利息の支払額	△5,628	△24,853
法人税等の支払額	△350,121	△398,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	411,051	432,374
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,465	△2,793
定期預金の払戻による収入	13,548	5,501
長期預金の預入による支出	—	△23,623
長期預金の払戻による収入	—	3,374
有形固定資産の取得による支出	△81,885	△84,899
有形固定資産の売却による収入	142	163
無形固定資産の取得による支出	△1,182	△1,244
有価証券の取得による支出	—	△267,974
有価証券の売却及び償還による収入	—	26,977
投資有価証券の取得による支出	△71,198	△104,327
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,523	7,481
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△31,410	—
生産物回収勘定 (資本支出) の支出	△17,748	△17,465
短期貸付金の増減額 (△は増加)	474	△6,586
長期貸付けによる支出	△306,674	△1,271
長期貸付金の回収による収入	96,559	86,205
その他	14,609	13,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383,708	△367,236

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	88,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,050	20,121
長期借入れによる収入	113,851	102,906
長期借入金の返済による支出	△72,937	△286,797
非支配株主からの払込みによる収入	2,781	7,709
配当金の支払額	△38,809	△41,803
非支配株主への配当金の支払額	△3,121	△4,667
その他	11,449	△5,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,164	△120,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,943	△1,944
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	77,451	△56,811
現金及び現金同等物の期首残高	191,213	211,656
現金及び現金同等物の四半期末残高	268,665	154,844

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂))

当社グループの一部の在外連結子会社及び在外持分法適用関連会社は、第1四半期連結会計期間より、IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を適用しております。

本改訂により、リース及び廃棄義務のように、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異が生じる場合、企業はそれにより生じる繰延税金負債及び繰延税金資産を認識することが明確になりました。本改訂は遡及適用され、前年同四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、投資有価証券が2,451百万円減少、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が13,540百万円増加、利益剰余金が10,983百万円減少、為替換算調整勘定が5,008百万円減少しております。また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書においては、遡及適用を行う前と比べて、持分法による投資利益が78百万円増加、法人税等が452百万円増加しております。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高が33,776百万円減少しております。

(追加情報)

(金融資産の条件変更等から生じる利益及び金融資産の条件変更等から生じる損失)

在外子会社が適用する国際財務報告基準(IFRS)第9号「金融商品」に基づき計上した、認識の中止を伴わない金融資産の条件変更、及び金融資産の見積将来キャッシュ・フローの改定等から生じた損益であります。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。今般、当社グループでは、2022年に公表した中期経営計画に基づく事業ポートフォリオの大幅な組替えやそれに伴う取締役会での評価・分析指標の見直し等に伴い、セグメント利益及び報告セグメントの変更を行いました。

従来セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整しておりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益を中期経営計画の経営目標としていること、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績評価に用いる指標であることから、より実態に即した評価・分析を行うために、第1四半期連結会計期間よりセグメント利益を連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益に変更しております。また、当社グループはグローバルな石油・天然ガスの探鉱、開発、生産、販売及びそれらを行う企業に対する投融資、すなわち「石油・天然ガス事業（以下、O&G）」を主たる事業としてきたことから、従来地域別の報告セグメントを採用しておりましたが、事業ポートフォリオの大幅な組替えや長期戦略にネットゼロ5分野への取り組みが追加されたこと等から、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「国内O&G」及び「海外O&G」に区分し、「海外O&G」については、当社グループの主要オペレーター・プロジェクトである「イクシスプロジェクト」とそれ以外の海外プロジェクトから構成される「その他のプロジェクト」に区分しております。なお、ネットゼロ5分野等、報告セグメントに含まれない事業セグメントについては「その他」の区分に集約しております。

変更後の報告セグメント及びその他の内容は以下のとおりです。

報告セグメント等		主な事業及びプロジェクト名
国内O&G		南長岡ガス田、直江津LNG基地
海外O&G	イクシスプロジェクト	豪州イクシス及び周辺探鉱
	その他のプロジェクト	豪州（イクシス除く）・東南アジア・欧州・アブダビ等におけるプロジェクト
その他		ネットゼロ5分野、輸送・販売事業、土木事業等

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。また、第1四半期連結会計期間より、会計方針の変更を行っており、前第2四半期連結累計期間は遡及適用後の数値となっております。

## Ⅱ 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
売上高							
外部顧客への売上高	111,610	187,282	790,254	9,328	1,098,476	—	1,098,476
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,529	13,678	—	2,891	19,098	△19,098	—
計	114,139	200,960	790,254	12,219	1,117,574	△19,098	1,098,476
セグメント利益又は損 失(△)	12,767	121,526	61,862	1,305	197,461	△13,317	184,144

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットゼロ5分野等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,317百万円は、セグメント間取引消去348百万円、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社費用△13,665百万円であります。全社費用の主なもの、報告セグメント及び「その他」の区分に帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外O&G—その他のプロジェクト」セグメントにおいて、株式会社INPEXノルウェー及びINPEX Idemitsu Norge ASを新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては19,293百万円です。

## Ⅲ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
売上高							
外部顧客への売上高	138,553	183,930	742,281	14,024	1,078,789	—	1,078,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,234	9,280	—	4,146	16,661	△16,661	—
計	141,787	193,210	742,281	18,171	1,095,451	△16,661	1,078,789
セグメント利益又は損 失(△)	28,484	152,997	76,481	2,692	260,655	△6,400	254,255

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットゼロ5分野等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,400百万円は、セグメント間取引消去48百万円、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社費用△6,448百万円であります。全社費用の主なものは、報告セグメント及び「その他」の区分に帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2022年1月31日(みなし取得日 2022年1月1日)に行われた出光スノーレ石油開発株式会社(現商号:株式会社INPEXノルウェー)及びIdemitsu Petroleum Norge AS(現商号:INPEX Idemitsu Norge AS)との企業結合について前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、売上原価が212百万円減少、販売費及び一般管理費が157百万円増加、法人税等が217百万円減少したことにより、売上総利益が212百万円増加、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ54百万円増加、四半期純利益が272百万円増加、非支配株主に帰属する四半期純損失が214百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益が57百万円増加しております。

## (重要な後発事象)

## (自己株式の取得及び消却)

当社は、2023年8月9日開催の取締役会において、以下の通り会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議するとともに、同法178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことについて決議しました。

## 1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

資本効率の向上及び株主還元の充実に図るため。

## 2. 取得に係る事項の内容

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 取得する株式の種類  | 普通株式  |
| (2) 取得する株式の総数  | 8,000万株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 6.12%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 1,000億円(上限)                                   |
| (4) 取得期間       | 2023年8月10日から2023年12月29日まで                     |
| (5) 取得方法       | 東京証券取引所における市場買付                               |

## 3. 消却に係る事項の内容

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 消却する株式の種類 | 普通株式  |
| (2) 消却する株式の総数 | 上記2.に基づき取得する自己株式の全数及び2023年8月9日時点で保有する自己株式(79,762,500株)の合計 |
| (3) 消却予定日     | 2024年1月31日  |

(ご参考) 2023年6月30日時点の普通株式に係る発行済株式総数及び自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く) 1,306,904,667株

自己株式数 79,762,500株

(注) 役員報酬BIP信託の保有する当社株式(892,173株)は自己株式に含まず。

## 3. 参考情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しており、前第2四半期連結累計期間の数値は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

## ① 生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称		区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
国内O&G		原油	0.5百万バレル (日量2.7千バレル)	0.5百万バレル (日量2.6千バレル)
		天然ガス	18.8十億CF (日量103.9百万CF)	17.6十億CF (日量97.1百万CF)
		小計	3.9百万BOE (日量21.7千BOE)	3.7百万BOE (日量20.3千BOE)
		ヨード	286.2t	281.3t
		発電	111.5百万kWh	103.0百万kWh
海外O&G	イクシス プロジェクト	原油	7.0百万バレル (日量38.9千バレル)	6.4百万バレル (日量35.1千バレル)
		天然ガス	181.8十億CF (日量1,004.6百万CF)	178.7十億CF (日量987.3百万CF)
		小計	42.4百万BOE (日量234.2千BOE)	40.8百万BOE (日量225.2千BOE)
	その他の プロジェクト	原油	64.3百万バレル (日量355.2千バレル)	63.5百万バレル (日量350.6千バレル)
		天然ガス	42.7十億CF (日量236.0百万CF)	50.6十億CF (日量279.7百万CF)
		小計	72.0百万BOE (日量398.0千BOE)	72.7百万BOE (日量401.7千BOE)
		硫黄	49.3千t	64.5千t
	その他		発電	208.8百万kWh
合計		原油	71.8百万バレル (日量396.7千バレル)	70.3百万バレル (日量388.4千バレル)
		天然ガス	243.3十億CF (日量1,344.4百万CF)	246.9十億CF (日量1,364.1百万CF)
		小計	118.4百万BOE (日量653.9千BOE)	117.1百万BOE (日量647.2千BOE)
		ヨード	286.2t	281.3t
		硫黄	49.3千t	64.5千t
		発電	320.3百万kWh	826.8百万kWh

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

- 3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。
  - 4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第2四半期連結累計期間は原油77.2百万バレル（日量426.8千バレル）、天然ガス248.2十億CF（日量1,371.1百万CF）、合計124.6百万BOE（日量688.3千BOE）、当第2四半期連結累計期間は原油74.0百万バレル（日量408.7千バレル）、天然ガス251.5十億CF（日量1,389.8百万CF）、合計121.9百万BOE（日量673.2千BOE）となります。
  - 5 BOE (Barrels of Oil Equivalent) 原油換算量
  - 6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
  - 7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。
- ② 受注実績
- 当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

## ③ 販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称		区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		
			販売量	売上高	販売量	売上高	
国内O&G		原油	252千バレル	3,272	239千バレル	2,529	
		天然ガス (LPGを除く)	53,384百万CF	102,736	48,338百万CF	132,348	
		LPG	1千バレル	5	—	—	
		その他		5,595		3,675	
		小計		111,610		138,553	
海外O&G	イクシス プロジェクト	原油	6,706千バレル	88,706	6,237千バレル	69,281	
		天然ガス (LPGを除く)	155,269百万CF	98,575	165,355百万CF	114,648	
		小計		187,282		183,930	
	その他の プロジェクト	原油	63,998千バレル	748,498	63,226千バレル	690,808	
		天然ガス (LPGを除く)	29,922百万CF	40,351	35,690百万CF	48,547	
		LPG	34千バレル	262	441千バレル	2,801	
		その他		1,141		124	
		小計		790,254		742,281	
	その他		原油	—	2,730	—	3,683
			天然ガス (LPGを除く)	184百万CF	740	172百万CF	964
LPG			—	1,930	—	3,058	
その他				3,927		6,318	
小計				9,328		14,024	
合計		原油	70,956千バレル	843,207	69,701千バレル	766,301	
		天然ガス (LPGを除く)	238,760百万CF	242,404	249,555百万CF	296,508	
		LPG	34千バレル	2,199	441千バレル	5,860	
		その他		10,664		10,118	
		合計		1,098,476		1,078,789	